



令和5年7月4日
統合幕僚監部

(お知らせ)

ロシア海軍艦艇の動向について

令和5年7月1日(土)から3日(月)にかけて、海上自衛隊は、宮古島(沖縄県)の北東約80kmの海域において、同海域付近で錨泊するロシア海軍ステレグシチー級フリゲート2隻(艦番号「333」及び「335」)を確認した。

その後、これらの艦艇が宮古島北の接続水域を西進した後、3日(月)から4日(火)にかけて、久場島(沖縄県)と大正島(沖縄県)との間の接続水域を経由し、東シナ海を北上したことを確認した。

なお、これらの艦艇は、5月12日(金)に対馬海峡を南西進し、同月14日(日)に与那国島(沖縄県)と西表島(沖縄県)との間の海域を南西進した後、6月30日(金)に沖縄本島と宮古島との間の海域を北進したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第13護衛隊所属「じんつう」(佐世保)、第43掃海隊所属「とよしま」(下関)及び第7護衛隊所属「ゆうだち」(大湊)により、警戒監視・情報収集を行った。

錨泊中のステレグシチー級フリゲート（艦番号「333」及び「335」）



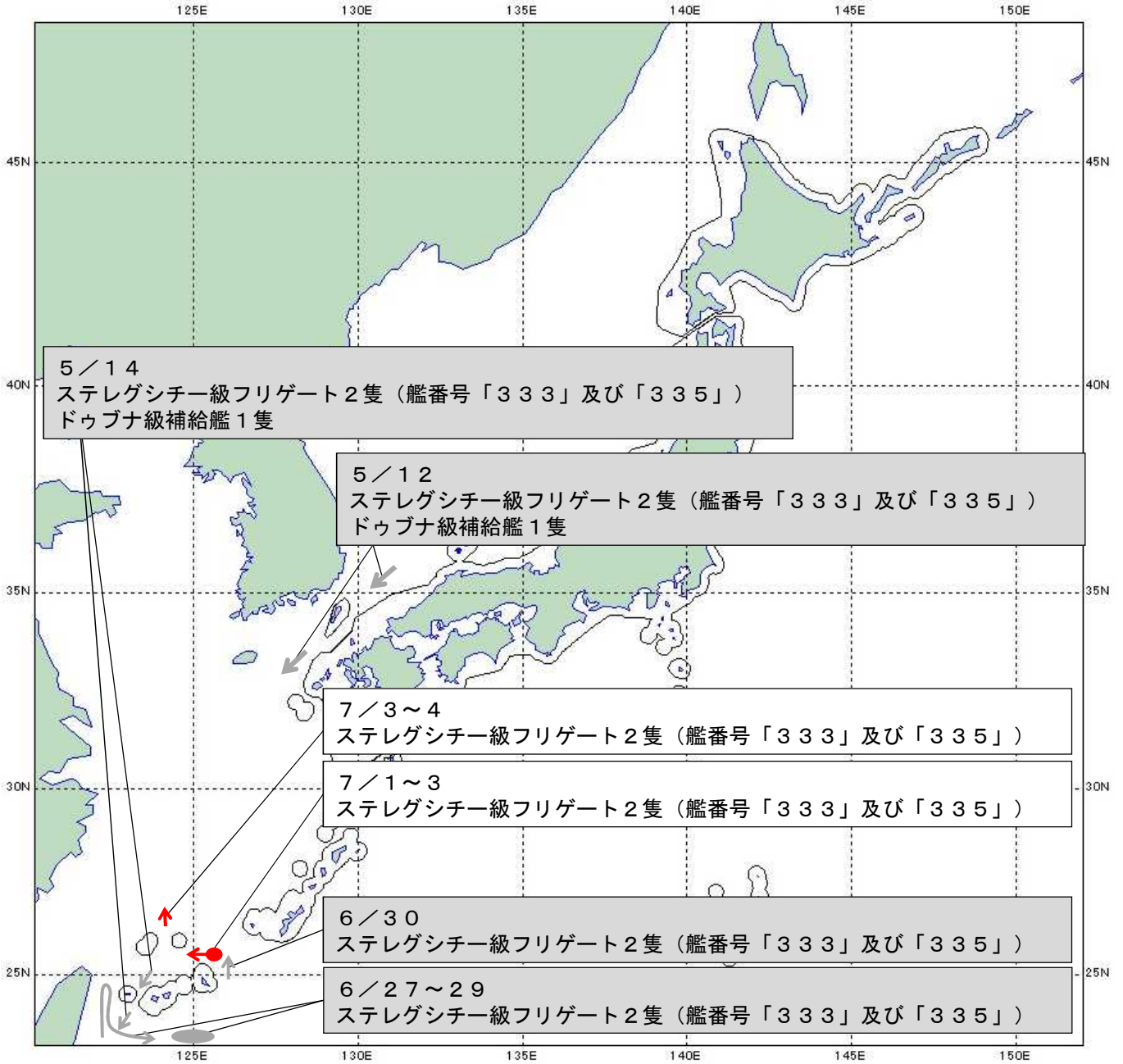
「投錨中」を示す形象物（黒球1個）







宮古島北方を航行するステレグシチー級フリゲート（艦番号「333」及び「335」）



行動概要



-  : ロシア海軍艦艇
-  : 錨泊箇所
-  : 今回公表
-  : 既公表